

生きがい通信

No.188

公益社団法人 習志野市シルバー人材センター

習志野市屋敷4-6-6 東部保健福祉センター内

TEL493-8011 FAX493-8040

URL:http://www.sjc.ne.jp/narashino/ E-mail:narashino@sjc.ne.jp

令和4年3月31日現在

会員数:859名

男性675名 女性184名

顧客アンケート調査の結果

調査目的

本調査は、センターの周知、啓発を図るとともに、地域の高齢者の活用に対する、地域事業所等の意向、期待等を把握し、就業機会確保、地域貢献活動等の資料とすることを目的とする

調査対象

就業開拓活動による情報の中からセンターが無作為に抽出した、250の事業所等

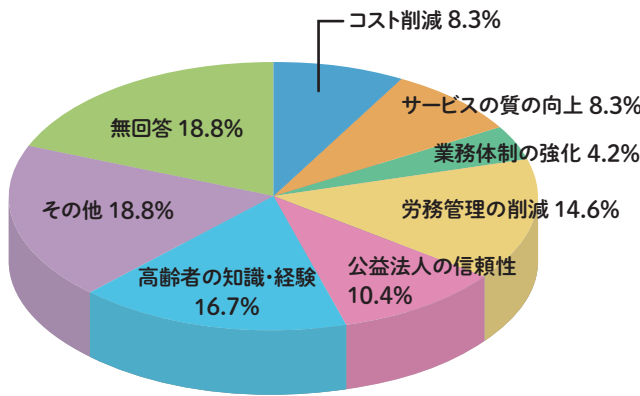
調査期間

令和3年12月6日～12月27日

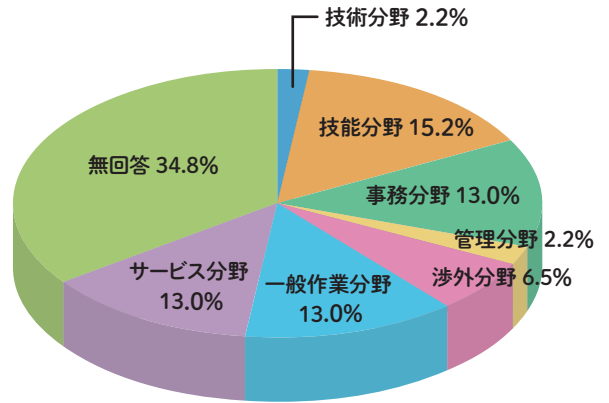
回答数

36件(回答率19.6%)※過去最低

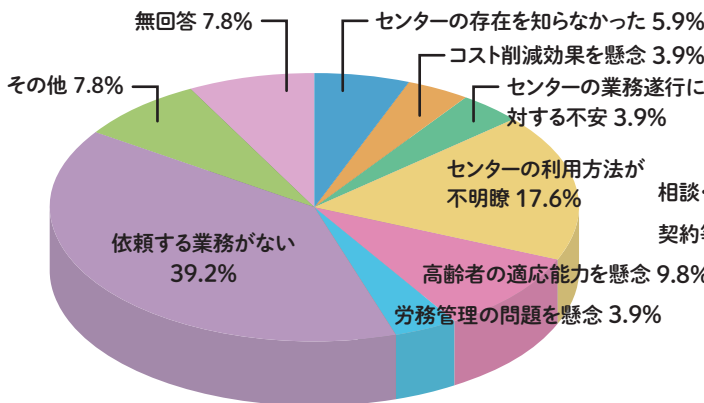
当センターの活用を検討する際、期待する事は何ですか



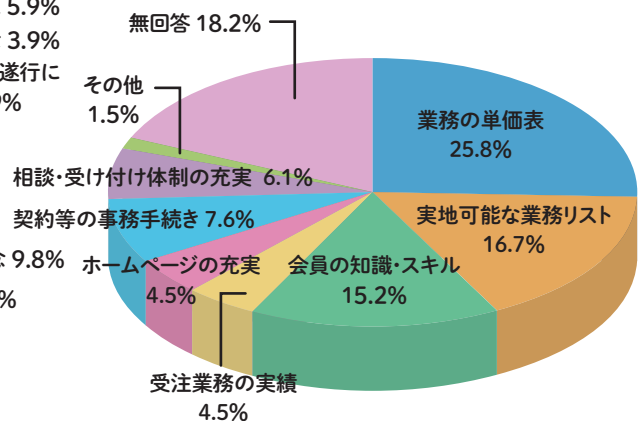
今後活用を検討してみたい業務は何ですか



当センターを「活用していない」理由についてあてはまるものはどれか



当センターの利用を検討する際、必要な情報は何か



主なご意見

- 高齢者の方々が就業機会を与えられ、ご活躍されていることは支持させていただきます。スキルと経験が生かされて、ご本人が生きがいを感じ、社会全体が活力のあるものになっていくことを期待いたします。
- 包丁研ぎ等を定期的に地域でやってもらいたい。
- 今後も引き続き質の高いサービス提供をお願いいたします。仕事中にケガ、事故等が生じたらどうなるのか疑問があります。

就業先訪問 株式会社インターネットインフィニティー 『クローバーデイサービス習志野』

大久保3丁目のクローバーデイサービス習志野(契約先は株式会社インターネットインフィニティー)を訪問させて頂きました。

目的は介護施設内で書道教室(1、2回/月)の講師としての就業されている当シルバー人材センター会員山本康子さん(屋敷地区)とその様子などを所長の高階(たかしな)様に取材することです。

クローバーデイサービス習志野のエントランスは、ガラス張りになっているため、約束時間に到着するとスタッフ(7名)と利用者として賑わっている様子がすぐにわかり、挨拶を済ませ、早速、お話を伺いました。クローバーデイサービスは県内に4つの事業所があり、当施設の利用者(定員)は22名とのことでした。施設で行うレクリエーションは、決まったものではなく折り紙、色鉛筆を使った絵書き、将棋等、ご本人が興味を持ったものをやっているようでした。お部屋の壁には、作品が数多く展示されていました。

取材中、書道講師の山本会員が出勤してきました。それにより、スタッフが利用者にお声掛けをし、書道を希望する方々が10名ほど集まり、書道教室が開始されました。山本会員の就業内容は、「書道の指導」はもちろんのこと、「テーブルや周りを汚さないこと」などにも気配りされておりました。

株式会社インターネットインフィニティーは様々なヘルスケアサービス提供に添った、多数の事業所が地域と密接し、特色のあるサービスを展開しているとのことです。今回、高階所長をはじめスタッフの方々には業務多忙なところお世話になり、誠に有難うございました。これからも多彩な介護サービスで利用者に喜んでもらいたいと熱く語っていただきました。

この取材を通じて、地域とのコミュニケーションの大切さを実感いたしました。



私のふるさと紹介



九月下旬の大雪山高原温泉付近

竹脇俊一(本大久保地区)

幼い頃は父親の転勤が何度かあったので、旭川に落ち着いたのは物心がついてからです。そこで幼稚園から高校まで過ごしました。

旭川は、北海道中央北部、大雪山連峰に囲まれた上川盆地の中にあります。飛行機で降りるとよくわかりませんが、山々の間から突然ポツカリ開けた平地が現れ、さらに降下すると、その中を流れる何本かの川と多くの橋が見えてきます。懐深い山々に囲まれながら石狩川の支流が行き交う街なのです。

開拓間もない明治時代には-41℃という観測史上最低気温を記録し、それがよく知られていますが、確かに小学生の頃に-30℃以下を何度か経験しま

した。子供心にも晴れた日に空気中の水滴がキラキラ輝くダイアモンドダストが神秘的だったのを覚えています。今は暖房が発達して暖気が盆地の上を覆うため昔のように下がらなくなつたようですが、夏は盆地特有の暑さがあり、一週間ぐらいいは30℃を超える日が続きます。一転秋になると急に気温が下がるので、木々の葉が鮮やかに色づき始めます。九月下旬には大雪山を少し登るだけで見事な紅葉が見られます。

最近の旭川は人口が減少傾向ですが、依然として交通の要地です。南には札幌へ向かう函館本線、東には網走に続く石北本線、北には最北の稚内に繋がる宗谷本線、そして富良野線が旭川駅を中心に四方に延びています。現在の旭川駅舎は10年前前に建て替えられたものですがなかなか立派です。支柱に木が豊富に使われており、木工業が盛んな旭川を発信しようとの意図が感じられます。機会があったら一度訪ねてみてください。北海道の鉄道はいっつも廃線になつてもおかしくない線をいくつも抱えています。歴史的な役割を終える部分があるのは致し方ないことですが、引き続き北海道を支えていってほしいと願っています。

検温・マスク・消毒・距離の保持…様々な出来事、状況、その時その場に素直に柔軟な対応ができるから

私たちは何をやるにもいつだって全力投球

夢の輪便り

働けて・仲間が居て・集えて・語れて・笑えます
だから免疫力がUPし、若々しく美しいのだと思います。

第66回

マジック教室



マジックは会員の宮本さんの特技です。

「たね」も「仕掛け」も無いわけないけど……
これは「たね」かな？
「仕掛け」かな？



第67回 嬉しい、楽しい

お料理教室



お料理を教えて下さった管理栄養士の中村先生曰く「お料理教室では男性の場合とはとにかく真面目に言われた通り作るけれど、女性の場合はそれぞれの個性が溢れていて面白い」との事です。

行事予定



入会説明会(定例月3回)

毎月第2・第3水曜日

午前9時30分～

毎月第2金曜日

午後1時30分～

シルバー人材センター会議室

※令和4年4月より毎月1回『出張入会説明会』を開催いたします。

※日時、場所等の詳細はシルバー人材センターHPまたは市広報誌に掲載いたしますので、そちらでご確認ください。

就業相談(予約制、会員限定)

毎月第2・第3水曜日

午後1時(30分単位)

シルバー人材センター会議室

刃物研ぎ作業

毎月5日、12日、20日

午前9時～

リサイクル作業所(袖ヶ浦)

毎月第4木曜日 午前9時～

シルバー人材センター会議室

なお、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となることもございますので、まずはシルバー人材センターにお問い合わせください。

(事務局)

令和4年度「事業計画」「収支予算」

第12回理事会(令和4年3月23日開催)において、令和4年度「事業計画」「収支予算」が承認されました。

主な内容についてご報告させていただきます。なお、詳細につきましては、6月22日(水)に開催予定の定時総会でご報告いたします。

事業計画

新型コロナウイルスによる経済への影響を常に想定しながら、センターが社会に求められる役割[高齢者の多様な社会参加活動を援助し、生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与する]を果たすべく事業計画を策定しました。

第二次中期基本計画に掲げた重点施策への取り組みを前提に、令和4年度は特に、「会員の拡大」「就業機会の拡大」「設立40周年記念事業」「魅力あるセンターづくり」「適正就業への取り組み」「安全対策の強化」「財政状況・運営体制の充実」の7項目を最重要事項として位置付けました。

収支予算

令和4年度収支予算は、経常収益で前年度予算対比1%減の4億9,483万3千円。経常費用を同対比1.4%減の4億9,841万114円を計上し、収益、費用とも減少とした予算を策定しました。

①経常収益(収入)

受託事業収益で前年度予算対比700万4千円の減、労働者派遣事業受託収益では137万4千円の増を見込みました。多様な就業機会に応えられる派遣事業で事業拡大が見込める一方、受託事業では、適正就業への取り組みにより派遣契約への切り替えや新型コロナウイルスの影響により、就業機会の拡大に明るい材料が乏しいことから、それぞれの数値を見込みました。

②経常費用(支出)

事業費では前年度予算対比1,239万7,815円の減、管理費では523万3,929円の増、全体で716万3,886円の減の予算縮減を行いました。

令和3年度に実施された千葉県による立入検査の中で、各費用の事業費、管理費への振り分けに指摘があったことから費用の洗い直しを行いました。結果として、これまで事業費として支出していた費用を、本予算から管理費で支出することに改めるといったことが発生しているため、全体として事業費の支出が減少し、管理費の支出が増加しています。

経常収益から経常費用を差し引いた当期経常増減額はマイナス357万7,114円と見込みました。

お題:【無題】

新株に 耐えて根を張る 翁桜
花筏 緋鯉の背びれ 見え隠れ

(ペンネーム ならしの権兵衛)

こんにちは 梅のウグイス 二年ぶり

(ペンネーム 10代は強肩)

今後も皆様から『川柳』募集いたしますので奮ってご応募ください。

次回(7月号)のお題は【無題】です。

締め切りは「6月11日(金)」必着とさせていただきます。

編集後記

新型コロナウイルス感染者数が鈍り、新種による再拡大が予想されている中、2年以上の行動制限続きは随分と堪える。

案内係をしている中学の同窓会は、早々と中止決定したが、15年前から行っている『ハケ岳』での合宿(1泊2日の親睦会)は、久しぶりに開催されることを期待している。

この合宿の前に、運動部の後輩が都心で経営している飲食店に集まって日程を確認し合うのだが、最初の緊急事態宣言の影響を受けて、このたび閉店廃業との情報が入った。彼(A君)の経営者としての決断に驚きと共に立派な判断ではなかったかと。年に2度程しか利用していないが、彼のサービス精神には、甘えてもいて、感謝していた。

今年も8月末に向け、先輩幹事が新しい店を捜して連絡が来る。きっとA君を招待するはずで、また彼も参加してくれたらと思う。久しぶりの合宿前飲み会が本当に待ち遠しい。

広報部会